

パソコンわくわく教室新規

今や車には必需品のドライブレコーダー。でもまだ車の購入時には標準装備とはなっていません。こぞとこの時の備えに用意しておきたいのです。

第3の目撃者として！

ドライブレコーダーは、最近ではどのタクシーに乗っても付いています。乗り合いバスや貸し切りの観光バスなどにも付けられるようになりました。業務用では事故処理よりも事故防止の教育や指導などに使つことがあります。自家用車でも車を運転する常備品として最近注目されています。（高速でのおり運転などの被害も報道に新しいですね。）こちりは、事故防止の意味もあるでしょうが、交通事故やトラブルの動かぬ証拠として使用することが多いのではないかでしようか。最近では、各メーカーからの出荷台数も増えているようです。

実際、事故となると一瞬の出来事で記憶もあいまいになります。そのためには曖昧な場合もあります。当人同士の証言だけでは曖昧さも残ります。そうなるとその瞬間を記録しておくしかありません。録画映像があるとその後の事故処理もスムーズに運ぶはずです。その意味でも、映像の録画は欠かせないのでしょうか。

どれを選びましょう？

ドライブレコーダーは、まだ車の標準設備とばかりいよいよあります。機器も数千円から数万円と幅広い価格帯で販売されています。

購入の前にこういう案もあります。買い換えてまだ手元に残っている古いスマートフォン、引き出しの奥に眠つていませんか？もう通話はできませんが、インターネット（Wi-Fi経由）やその他の機能は使えます。ドライブレコーダーのアプリを入れて、それを使ってみましょう。とりあえずのドライブレコーダーには使えます。車に固定する器具はホームセンターなどで手に入ります。

ドライブレコーダーを新たに購入する場合、どこに注意しましようか：安ければいいというものでもありませんので、ここは慎重に選びたいのです。



- ① 画素数—記録できる映像の細密さ
- ② 解像度—再生時の映像の細かさ
- ③ 角度—カメラから見渡せる角度
- ④ GPS—位置情報の取得
- ⑤ Wi-Fi—インターネットへの接続
- ⑥ 自動イベント録画—衝撃などがあった時に、その時の映像を別フォルダーに保存する機能
- ⑦ フリックカーレス機能—録画時のちらつきを防止する機能
- ⑧ 駐車監視—車のエンジンが停まっている状態でも録画できる機能

この中で重要な要素は⑥と⑦ではないでしょうか。

映像の録画は、通常数分ごとに分割され保存されていますが、古いものはどんどん新しい録画映像に上書きされていきます。⑥の機能がないと、その瞬間の映像が上書きされて残らない場合があります。それを防止するために、その瞬間の映像は別フォルダーに保存されます。

⑦の機能は主に信号機の色をはっきりと録画するためのものです。この機能がないと信号機の色が判別できない場合もあります。また、当て逃げなどの対策で⑧もあるに越したことはなさそうです。

当然、高機能の機器は価格も高くなります。目的とフットロードを併せて機器を選びましょう。

ドライブレコーダーがあると、いざという時の証拠として、また、あるることで普段の運転も慎重になるかもしれません。

ドライバー曰線で録画しますので、編集して旅の記録とするのも良いのではないでしょうか。

なお、録画用のSDカードは、容量が大きく記録速度の早いものが良いでしょう。



教室のWebページは左記アドレスから、スマート・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month